



袋小だより

令和4年3月号
北区立袋小学校

URL <http://www.city.kita.tokyo.jp/gakkoshien/kosodate/shogakko/gakkojoho/kuritsu/fukuro/index.html>

節目の時期に

校長 新紺 明典

3月を迎え学校では、まとめと次の年への準備が始まっています。今年度も新型コロナウイルス感染症の流行に翻弄された1年となりました。一時は収束も感じられましたが、オミクロン株の流行で感染者が広がり、児童や保護者の皆様に心配をおかけしました。保護者の皆様に学校での子供たちの様子を見ていただく機会もほとんどとれず、申し訳ありませんでした。

現代は「予測困難な時代」と言われ、「主体的に考える力」が必要とされています。「変化すること」を前提に状況に対応したり活路を見いだしたりする力が求められることが指摘されています。これまでと全く異なる状況においては、これまでと同じ事を実施することは困難でありました。Aが良いかBが良いかの「正解」を求めるのではなく、「納得できる」方法を求めていくことが必要です。そのためにはアイディアを出し、様々な方向からの検討が必要でした。コロナ禍で対面が難しくなったことで、コミュニケーションの必要性を改めて感じました。令和3年度が終わり、令和4年度に向かうこの時期に小学校で行わなければならない教育活動への思いを強くしています。

6年生の皆さんが、今の仲間と袋小学校で過ごすのは、あと18日です。そう考えると一日一日がより大切な時間を感じられます。コロナ禍にあって人と人とのつながりは、何物にも代えがたい貴重なものだと強く感じました。厳しい中でも6年生の皆さんは袋小学校の最上級生として、通学班や委員会、クラブ活動など先頭に立って頑張ってくれました。また、運動会や学習発表会でも、下級生のあこがれとなるような姿を見せてくれました。様々な活動を通して、考えること、頑張ること、努力することの大切さを下級生に教えてくれました。

下級生のあこがれだった6年生は、まもなく卒業式を迎えます。「式」は「節目」と言われます。大きく成長する時期にしっかりと「節目」を実感することが大切です。「卒業式」はこれまでの集団から離れ、一人一人の個人に戻る時です。証書授与の場面は全て一人です。一人一人がこれまでの成長と今後への決意を表現してほしいと願っています。卒業生に限らずその他の学年も進級します。クラス替えを経験する学年もあります。

「節目」を意識し、大きな成長への準備をしてほしいと願っています。

最後になりますが、この1年間、コロナ禍の中でも子供たちの健やかな成長を願い、温かい励ましをいただきました保護者の皆様やPTAの皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

3月の行事予定

日	曜	内容	日	曜	内容
1	火	日光高原学園始(6年)	17	木	
2	水	日光高原学園終(6年)	18	金	
3	木		19	土	
4	金		20	日	
5	土		21	月	春分の日
6	日		22	火	
7	月		23	水	
8	火	卒業を祝う会 (1~5年生は13:55完全下校)	24	木	修了式(給食なし) 卒業式予行(5・6年生)
9	水		25	金	第80回卒業式(給食なし)
10	木	安全指導	26	土	春季休業日始
11	金	通学班指導(5校時)	27	日	
12	土		28	月	
13	日		29	火	
14	月		30	水	
15	火		31	木	
16	水				

1~4年下校
10:30頃

※4月5日(火)入学式準備
(新6年生は登校日)
6日(水)始業式、入学式
7日(木)午前授業(給食なし)
8日(金)給食始

薬物乱用防止教室 (2月8日)

6年担任 小形 和史

6年生が薬物乱用防止教室を実施しました。例年ですと、ロールプレイングで薬物の断り方を実践したり、キャラバンカーの中で映像や標本を見て、薬物の恐怖を実感したりする体験を行います。しかし今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年と同じような形で実践できませんでした。当日は警察OBの講師をお招きし、ランチルームと教室をリモートでつないで話を聞くことができました。薬物を法律で裁けないような形に変えたり、薬物の名前を身近なものに変え、親しみやすいものにしたりして、広がっていくことを知りました。

子供たちは、実際に使用すると薬物に依存し、やめられなくなるという話を聞き、大変危険で恐ろしい物なのだと改めて実感することができました。最後には現役の刑事の方にもお越しいただき、実際にあった体験談を聞くことができました。話を聞いた子供たちは、驚きの表情でリモート画面を見ていました。この体験は、明るい生活をこれからも続けていくために自分たちはどうすればいいのかを考えることのできた有意義な時間でした。

能と狂言の鑑賞体験教室 (2月9日)

音楽担当 小林 法子

6年生を対象に、文化庁支援事業による能と狂言の鑑賞体験を、能楽協会の皆さんにお越しいただき、本校体育館にて行いました。能楽師の観世喜正さんから、能と狂言とは、簡単に言うと現代の演劇にあたることや、その歴史は古く、江戸時代には式楽であったこと等を学びました。実際に狂言「棒しばり」や能「羽衣」の一部を目の前で演じていただき、それぞれがもつ雰囲気の違いを味わうことができました。また、途中で謡い等の体験を行い、台詞の音の上がり下がりを意識して声を出すことに挑戦しました。能で実際使っている装束や面等の紹介もあり、大変貴重な体験でした。日本の文化・芸術について興味・関心をもつ、よい機会となりました。

スクールコンサート (2月15日)

音楽担当 小林 法子

「アンサンブル・マレット」のみなさんによる、マリimbaやドラム等を中心とした打楽器による演奏会が本校の体育館で行われました。今年度は感染症予防対策のため、6年生のみ体育館での鑑賞を行い、他学年は各教室でオンラインでのライブ鑑賞形式をとりました。マリimbaを鳴らすための道具をマレットということや、そのマレットの硬さによって生み出される音色が違うこと等を、演奏を通して実感することができました。

「剣の舞」や「白鳥」と言ったクラシックの名曲から、サンバ等のゆかいな曲も演奏していただき、色々な雰囲気の曲を味わうことができました。来年度は全校のみなさんで、スクールコンサートが行えることを願っています。



6年生を送る会

担当 佐藤 結衣

「きずなを深め 協力し合い 明るい未来を切りひらこう」をテーマに、3月に6年生を送る会を実施する予定です。今年度も新型コロナウイルスの影響で、本来予定していた日程での実施はできませんでしたが、各学年が6年生への感謝の気持ちを込めて動画撮影に励みました。動画を見られる日を楽しみに待つとともに、6年生と過ごせる残り少ない日々を大切にしていきたいと思えます。

～各学年の内容～

- | | | | |
|-----|----------------------|-----|-------------------|
| 1年生 | お世話について(ダンス、よびかけ、歌) | 2年生 | 運動会について(ダンス、よびかけ) |
| 3年生 | 子ども祭りについて他(よびかけ、クイズ) | 4年生 | クラブ活動について(よびかけ) |
| 5年生 | 委員会について(寸劇) | 6年生 | 思い出まちがいさがし |
| | 6年生クイズ | | 1～5年生に向けてよびかけ |